



子どものオンラインゲーム ～無断課金につながるあぶない場面に注意！～

子どもが無断でオンラインゲームに課金してしまったという保護者からの相談が多く寄せられています。特に、スマートフォンやタブレット端末での小学生・中学生の無断課金に関する相談が目立ちます。

【県内相談事例】

小学生の孫が合計67万円のゲーム課金をしていた。孫には、通信契約を解約したタブレットを、夜10時以降の使用やアプリ課金の禁止などの利用制限設定をして与えていた。

孫がどのようにしたのかわからないが、パスワードをつきとめ、利用制限設定を解除し課金していたようだ。



アドバイス

- 保護者のスマホで遊ばせる場合は、保護者のアカウント（Apple や Google）は必ずログオフしましょう。
- 保護者の古いスマホや子ども専用のスマホで遊ばせる場合は、子ども専用のアカウントを作成し、「ペアレンタルコントロール」機能を利用して保護者が管理しましょう。この機能で課金を承認制に設定できます。
- スマホのアカウント決済とキャリア決済のそれぞれに、決済時の承認（パスワード、指紋認証、顔認証など）を設定しましょう。パスワードはお子さんが類推できない文字列で設定しましょう。
- キャリア決済は必要に応じ上限額を低くしましょう。また、日頃から決済完了メールや明細を確認しましょう。
- 子ども自身が考えて適切にゲームと付き合えるように子どもと一緒に行う対策も重要です。子どもが遊ぶゲームの課金の仕組みを一緒に確認したり、オンラインゲーム課金についてルールを決めたりしましょう。
- 不安に感じたり、困ったときはすぐに消費生活センターや市町村の消費生活相談窓口にご相談してください。（消費者ホットライン「188（いやや）」番で最寄りの消費生活センター等につながります。）